

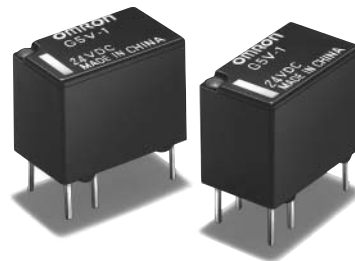
形G5V-1

マイクロリレー

用語解説 C-20
 共通の注意事項 C-24
 規格認証一覧 後-6

小型、高感度1極信号用リレー

- 小型サイズ 12.5(L)×7.5(W)×10(H)mm。
- ワイドな接点のスイッチング領域 1mA ~ 1A。
- 高感度コイル 150mW。
- プラスチックシール・タイプのため、耐環境性が高い。
- コイル - 接点間FCC part68準拠。
(1,500V、10×160μs)



RoHS適合 (詳細は、後-38ページをご覧ください。)

形式基準

形G5V-__ 接点極数
 1 : 1極

種類 (印の機種は標準在庫機種です。無印(受注生産機種)の納期についてはお取引先弊社にお問い合わせください)

構造	項目 接点構成	コイル定格電圧	形式	最小梱包単位
プラスチック・ シール形	1c	DC 3V	形G5V-1	25個/スティック
		DC 5V		
		DC 6V		
		DC 9V		
		DC12V		
		DC24V		

用途例

電話機、モデム、ファクシミリ、
 ポータブル機器、オーディオ機器

基準形仕様

接点接触機構：クロスバ・シングル
 (Au合金 + Ag)

保護構造：プラスチック・シール形
 端子形状：プリント基板用端子

注 特殊シリーズ品としてクロスバ・ツイン接点
 タイプも品揃えしています。

定格

操作コイル

項目 定格電圧 (V)	定格電流 (mA)	コイル抵抗 (Ω)	動作電圧 (V)	復帰電圧 (V)	最大許容電圧 (V)	消費電力 (mW)
DC	3	50	80%以下	10%以上	200% (at23)	約150
	5	30				
	6	25				
	9	16.7				
	12	12.5				
	24	6.25				

- 注1. 定格電流、コイル抵抗はコイル温度が +23 における値で、公差は ±10% です。
 2. 動作特性はコイル温度が +23 における値です。
 3. 最大許容電圧は、リレーコイルに印加できる電圧の最大値です。

開閉部

項目	負荷	抵抗負荷
接点接触機構		クロスバ・シングル接点
接点材質		Au合金 + Ag
定格負荷		AC125V 0.5A、DC24V 1A
定格通電電流		2A
接点電圧の 最大値		AC125V DC60V
接点電流の 最大値		1A

性能

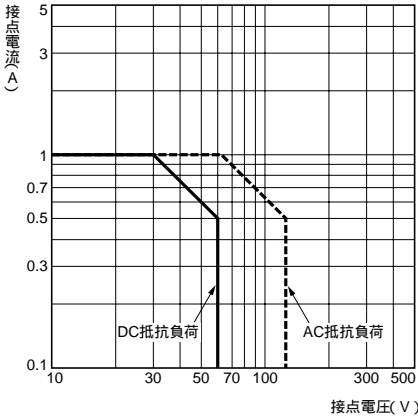
接触抵抗 *1	100m 以下	
動作時間	5ms以下	
復帰時間	5ms以下	
絶縁抵抗 *2	1,000M 以上	
耐電圧	コイルと接点間	AC1,000V 50/60Hz 1min
	同極接点間	AC400V 50/60Hz 1min
振動	耐久	10 ~ 55 ~ 10Hz 片振幅1.65mm(複振幅3.3mm)
	誤動作	10 ~ 55 ~ 10Hz 片振幅1.65mm(複振幅3.3mm)
衝撃	耐久	1,000m/s ²
	誤動作	100m/s ²
耐久性	機械的	500万回以上 (開閉ひん度36,000回/h)
	電氣的	10万回以上 (定格負荷 開閉ひん度1,800回/h)
故障率 P水準 (参考値 *3)	DC5V 1mA	
使用周囲温度	-40 ~ +70 (ただし、氷結および結露しないこと)	
使用周囲湿度	5 ~ 85%RH	
質量	約2g	

- 注. 上記は初期における値です。
 *1. 測定条件：DC1V 10mA 電圧降下法による。
 *2. 測定条件：コイル - 接点間DC500V、同極接点間DC250V絶縁抵抗計にて耐電圧の項と同じ箇所を測定。
 *3. この値は開閉ひん度120回/minにおける値で、接触抵抗の故障判定値は100 です。
 この値は開閉ひん度、使用雰囲気によって変化することがありますので、実使用条件にてご確認の上、
 ご使用ください。

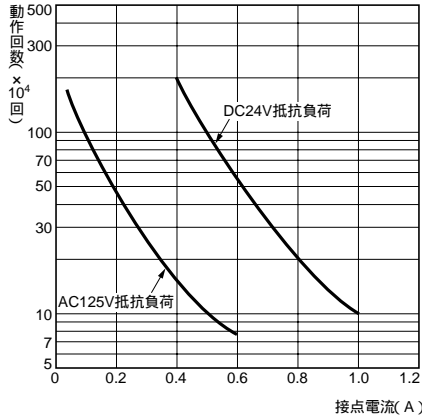


参考データ

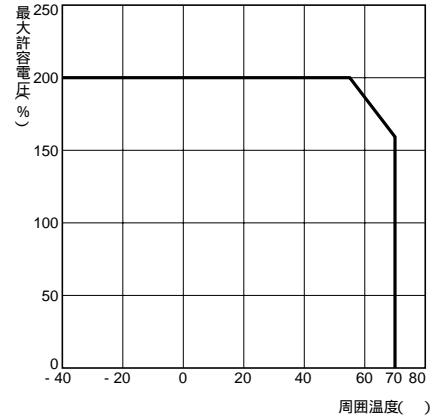
開閉容量の最大値



耐久性曲線

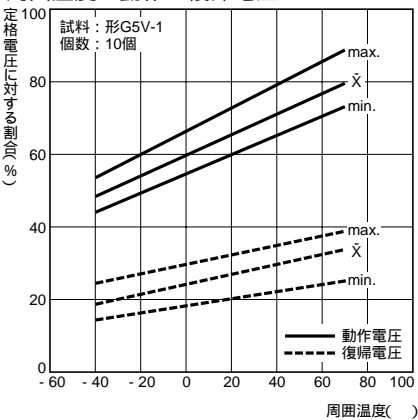


周囲温度と最大許容電圧

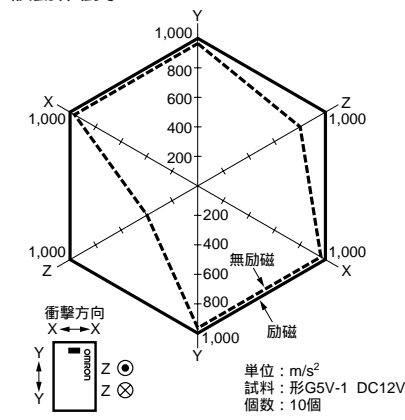


注: 最大許容電圧は、リレーコイルに印加できる電圧の最大値です。

周囲温度と動作・復帰電圧

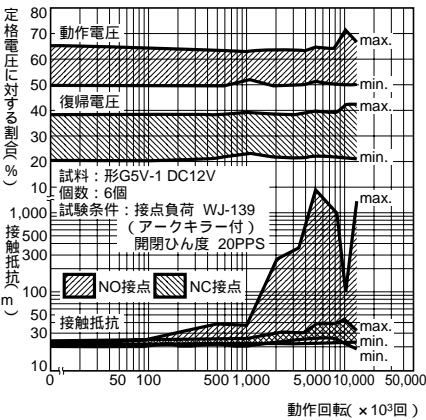


誤動作衝撃

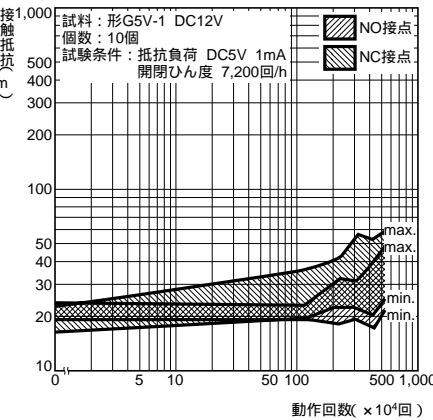


測定: 3軸6方向に無励磁で3回、励磁で3回、それぞれ衝撃を加え接点の誤動作を生じる値を測定。

ダイヤルパルス試験 *1



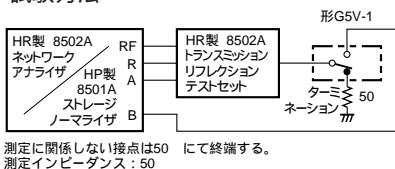
接触信頼性試験 *1, *2



- *1. 周囲温度条件 +23 です。
- *2. 接触抵抗のデータは定期測定時の参考値で毎回モニタリングされた値ではありません。接触抵抗値については、開閉ひん度、使用雰囲気によって変化することがありますので、実使用条件にてご確認の上、ご使用ください。

高周波特性

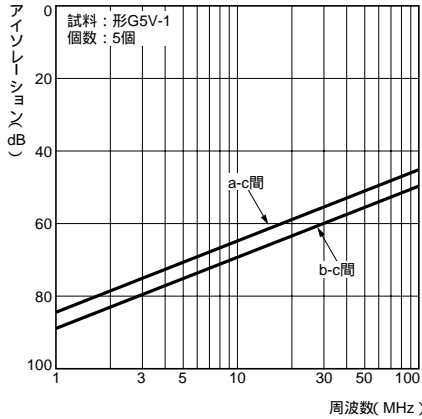
・試験方法



注: 高周波特性データは測定用ソケットを用いた値であり、使用条件によって値は異なります。ご使用にあたっては実機にての確認が必要です。

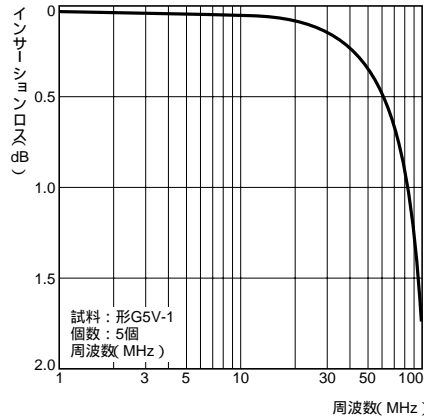
アイソレーション特性 *1、*2

・周波数-アイソレーション〔平均値 初期〕



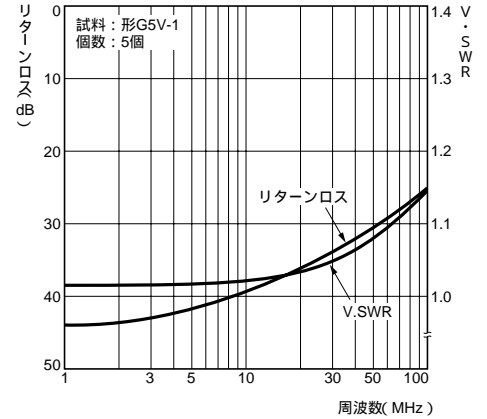
挿入損失特性 *1、*2

・周波数-インサージョンロス〔平均値 初期〕

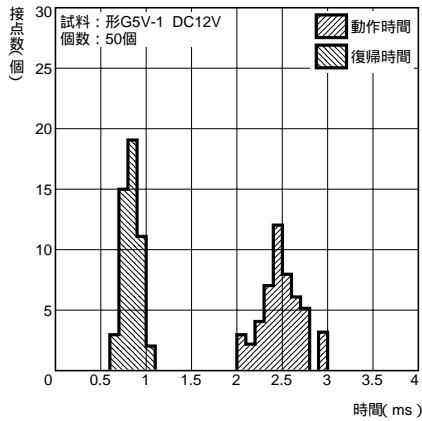


V.SWR特性 *1、*2

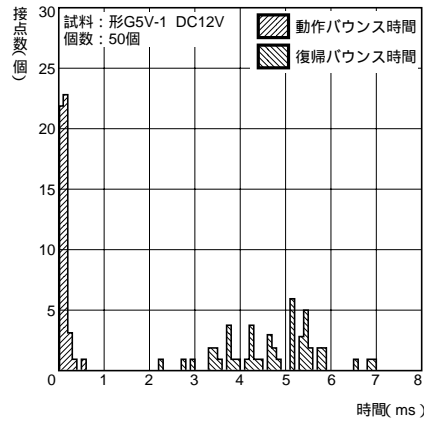
・周波数-リターンロス、V.SWR〔平均値 初期〕



動作・復帰時間の分布 *1



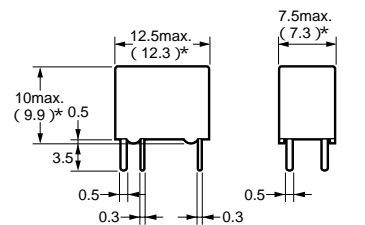
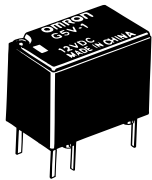
バウンス時間の分布 *1



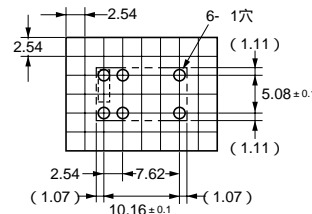
*1. 周囲温度条件 +23 度です。
*2. 高周波特性については、実装基板により特性が異なるため、実機にて耐久性を含めご確認の上、ご使用ください。

外形寸法

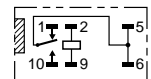
形G5V-1



プリント基板加工図 (BOTTOM VIEW)



端子配置/内部接続図 (BOTTOM VIEW)



(コイル極性はありません)

海外規格認定定格

UL規格認定形 ファイルNo.E41515

CSA規格認定形 ファイルNo.LR31928

極数	操作コイル定格	接点定格	試験回数
1c	3~24V DC	1A 30V DC 0.3A 110V DC	6,000回
		0.5A 125V AC	100,000回

注：標準形式でご注文頂きますとUL/CSAの規格認定マークつきの商品となります。

正しくお使いください

● 共通の注意事項は、C-24~C-43ページをご覧ください。

使用上の注意

● 長期連続通電する場合

リレーを開閉動作しないで長期間連続通電するような回路で使用するには、コイル自身の発熱によるコイルの絶縁劣化や接点表面での皮膜の生成などにより接触不安定が促進されます。このような回路の場合、万一の接触不良やコイル断線にそなえて、フルブーフの回路設計をお願いします。

● リレーの取り扱いについて

はんだ実装後に洗浄される際は急冷を避け、アルコール系または水系の洗浄剤をご使用ください。また洗浄温度は40 以下にしてください。